

もっと安心農産物 こかぶ栽培暦 (冬どり栽培)

JAIちかわ船橋地区もっと安心農産物生産グループ

1. 土作り

完熟堆肥を施用する。(1,500kg)

2. 施肥 土壌診断にもとづく施肥量の遵守 (化成肥料由来の窒素成分量9kg/10a以内)

	肥料名	保証成分 (%)	施肥量上限
基肥	スーパーマイルド086	10-8-6 (有機態窒素6.1)	200kg/10a
	有機アグレット673	6-7-3 (有機態窒素6)	100kg/10a
	苦土重焼燐	0-35-0 苦土4.5	20kg/10a
	苦土セルカ2号 (有機石灰)	60kg/10a	

有機アグレット673は、スーパーマイルド086で窒素量が不足の場合施用する。

3. 防除 農薬使用成分回数は合計**3**回までです。(エスマルクDF・スピノエース顆粒水和剤は化学合成農薬に含まれない)

(薬剤名後()内数字は、化学合成農薬の成分数を示す。)

月	管理作業	病害虫の発生	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施等)	
11月	↑ 播種	アブラムシ	D-D (1)	20% / 10a	ネグサレセンチュウ 根こぶ病 萎黄病	品種：白涼・白鷹 ゆきわらし 防虫ネットでトンネル被覆する。その際破れ等ない物を使用する。 白さび病の防除にはランマンフロアブル2,000倍(収穫3日前3回)を散布する。 ハマグラミガの防除は、発生初期にエスマルクDF(O)1,000倍(前日迄)を散布する。 収穫後、作物残渣はきれいに処理して病害虫の発生源をなくす。	
上旬			バアミド 微粒剤 (1)	30kg/10a			
中旬			ディ・トラパックス油剤 (2) のいずれかを使用する	30% / 10a			
12月	↓						
上旬							
中旬			フォース粒剤 (1)	4kg/10a 播種時1回	キスジノミハムシ		
下旬	↑			ユニフォーム粒剤 (2)	9kg/10a 播種前全面土壌混和		白さび病
1月			モスピラン顆粒水溶剤 (1)	2,000倍 (収穫21日前1回)	アブラムシ類		
上旬			ハチハチ乳剤 (1)	2,000倍 (収穫7日前1回)	キスジノミハムシ コナガ		
中旬			ランネット 45DF (1)	1,000倍 (収穫7日前2回以内)	アオムシ アブラムシ		
下旬		アフアーム乳剤 (1)	2,000倍 (収穫3日前2回)	コナガ			
2月		↓ 収穫		アブラムシ	2,000倍 (収穫前日3回)	コナガ	
上旬	スピノエース顆粒水和剤 (O)		5,000倍 (収穫前日3回)	ハモグリハエ			
中旬	アルバリン顆粒水溶剤 (1)		2,000倍 (収穫3日前2回)	アブラムシ類 キジミハムシ			
下旬							

☆みんなで守ろう生産基準